

静薬学友会（静岡県立大学薬学部同窓会）のあゆみ

静岡県立大学薬学部の歴史は大正5年（1916年）、静岡市鷹匠町に私立静岡女子薬学校の設立が許可されたときに始まったといえます。当時、眼科医であった岩崎照吉氏（当時の静岡県安倍郡大谷町出身）は、自宅の庭に薬学校を創設、初代校長をつとめました。以来、私立静岡女子薬学専門学校、私立静岡薬学専門学校、県立静岡薬学専門学校を経て、昭和28年（1953年）に県立静岡薬科大学が開設されました。大学院は、昭和37年（1962年）に修士課程が、昭和39年（1964年）には新制大学として初めての博士課程が設置されました。昭和62年（1987年）には、静岡薬科大学は静岡県立大学薬学部へと発展的に移行し、現在に至っております。

私立専門学校、県立静岡薬科大学、引き続いての静岡県立大学薬学部は、一貫して薬学の向上と振興に努め、特色ある薬学の推進を図り、静岡県ならびに世界における伝統を築いています。

現在、登録されている正会員数は6637名にのぼり、学界、産業界をはじめ行政、病院、薬局など多方面で活躍しています。